

Q1:

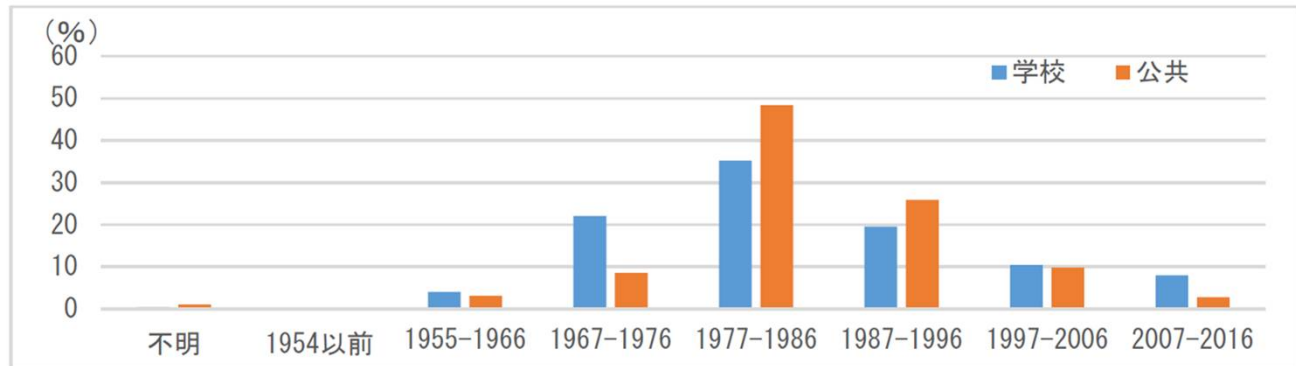
体育館をFRaTacsで空調設備整備する場合は床下地から改修することになるのですか？

A1:

築年が古い学校体育館は、床下地を含む床全面取替えが必要です。FRaTacsは空調整備にあわせて床の安全性確保、断熱性確保及び長寿命化対策を同時達成します。

- 原則、FRaTacsの空調設備整備は床下地を含む床全面取替え(床の改修)が必要です。
- 全国の学校体育館の築年は約80%が30年を超え、約60%は40年を超えています(図表 - A1_1)。また、利用状況にもよりますが、床下地の耐用年数は20年といわれ(図表 - A1_2)、全国の90%超の学校体育館は床の改修の時期を経過していると推定します。
- フローリングのササクレで重大な負傷事故が発生していると報告されています。適正な維持管理が重要ですが、築年が古く劣化した体育館の床は安全性確保と長寿命化対策の観点からも床の改修が必要です。
- FRaTacsであれば空調設備整備、安全性確保、床の断熱性確保及び長寿命化対策が一括施工で同時達成しますので、発注の簡素化、工期短縮及び高いコスパが実現可能になります。

図表 - A1_1、体育館の竣工年_アンケート調査結果(学校 n = 1,601、公共 n = 641)



出典：消費者安全調査委員会、消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等原因調査報告書
一体育館の床板の剥離による負傷事故一、平成29年5月29日

図表 - A1_2、体育館の木製床の劣化と改修

